

## 理事長所信

公益社団法人山梨青年会議所  
第42代理事長予定者 石原健一

2014年度スローガン

# 「主体変容」

～希望あふれる確かな未来に向けて～

### 【はじめに】

公益社団法人山梨青年会議所は、1973年12月熱い情熱をもった先輩諸兄により、全国551番目のLOMとしてJCの火が灯りました。以来、41年に渡り、JCの三信条である「修練・奉仕・友情」を胸に、高い志、熱い情熱、弛まぬ努力と行動力を持って地域に根付いた活動を展開しております。そして我々は、その歴史と伝統を受け継ぎ、愚直な程一生懸命にJC活動を行ってきています。先輩諸兄がこの地域に残してきた数々の功績は、私たち現役メンバーが活動する際の大きな拠り所であり、誇りであります。そして受け継がれた明るい豊かな社会の実現への運動は、時代が変わっても終わることはありません。

私達青年会議所を取り巻く環境も「青年会議所しかない時代から、青年会議所もある時代」へと変り、まちづくりや、まちおこしの活動を行う団体は青年会議所以外にも数多く存在する時代になりました。今、多くの人が団体を作り、行動することで地域を活性化させようとしています。しかし、現在の日本は、震災後の復興、教育問題、経済、社会保障など、多くの課題に直面し、その課題は、国だけでなく地域に顕在化するものも複雑に絡み合い、それらが一向に解決に向かわないことに焦燥感を抱いています。生活の基盤である地域が、安心、安全に暮らせて、希望あふれるまちとなるために、公益社団法人山梨青年会議所は41年という歴史からなる経験と、全国各地会員会議所の繋がりを糧として、我々だからこぞできる活動を邁進していく必要があると感じております。

2014年度スローガンを「主体変容」～希望あふれる確かな未来に向けて～といたしました。「主体変容」とは、何か困難や問題が生じた時、「誰かのせい」「環境のせい」「何かのせい」にするのではなく、責任の源は自分であると考え、自分が変わることによって周りを変えていくという意味です。松下幸之助氏は「人生の幸福は、主体変容がもたらすもの」

と言い、周りや環境を変えようと思ってもなにも変わらない、先ず自分を変えて始めて「変わる」と言っております。高橋史朗氏も「主体変容」を、「責任の源は自分であり、先ず己を変えることが大きなことを成し遂げることに繋がる」と言っております。今、我々が必要なのは、自分自身を見つめ直し、自分が変わることはないでしょうか。この「主体変容」により、我々自らが源となり行動していくことが「明るい豊かな社会」の実現への第一歩となると確信しています。

## 【活動方針】

### — 親学推進委員会 —

日本全国をみると表面的な学歴社会も変わらない中、教育現場では、教師のモラルの低下、いじめ、子どもの学力の低下等の問題が取り上げられ、学校教育も混沌としています。我々が住む山梨市においても、核家族化は進み、共働きをする家庭も多く、生活環境も多様化しています。そんな中、家庭や地域の絆が希薄化しているのが現状です。しかし、どんな社会においても、温かい家庭や、拠り所となる大切な地域があれば、子ども達も、親自身も、希望を持って生きていけるはずです。

親学推進委員会では、家庭や地域の教育力向上をはかり、一人ひとりが成長し、家庭や地域の絆を深める事業を開催いたします。

### — 青少年育成特別室 —

青少年育成事業は、山梨青年会議所が誕生して以来、長年に渡り力を入れてきた事業です。それは地域の健全な発展は、健全な青少年の育成が必要不可欠であると考えてきたからです。健全な日々を送る青少年がいる反面「キレやすい」「無気力、無責任」「コミュニケーション能力が乏しい」などの問題点もあげられています。それは、経済の発展により核家族化が進み、学歴社会などから、学習塾や各習い事などに通う子どもが多くなり、その結果、全て大人の管理下や監視下に用意された枠組の中でしか生活できず、ゲームやテレビで子どもも分散されながら、孤独な世界の中で時間を過ごすことが多くなってきているのが大きな原因と考えます。

青少年育成特別室では、子ども達に様々な体験を通して心身共に健康にはつらつと育ち、多くの仲間と活動をし、友情を育む中で「生きる喜び」を実感してもらう事業を開催いたします。

### — 研修委員会 —

山梨市においても少子高齢化、人口減少が進んでいます。行政も各問題に取り組んではいますが、なかなか解決に向かっていません。また私達で解決しようと思っても、何をしたら良いのか難しいのが現状です。このような時、先ず我々は何をすべきでしょうか。

それは自分を変えることです。何か問題が生じた時、「自分も何かできたのではないか」という自分自身との対話を通し「今度はこんな方法をとってみよう」という、自分に矢印を向けた考え方にする必要があります。自身の行動を変えてみると、多くの気づきがあり、そして周りも良い方向に変わり、結果は良い方向に必ず変わります。

研修委員会では自分を変えるということを、新たな学びとし、私達が尊厳ある人間として、常に成長していくことを目的とした事業を開催いたします。

## — 総務室 —

LOM が円滑に運営され、室・委員会がスムーズな運営をするためには、基盤となる総務室の活動が重要となります。LOM が活動する上で必要な運営や処理、並びに各委員会のサポートを全力で行います。またホームページより我々の活動を広く発信すると共に、会員拡大に向けて入会候補者の情報をしっかり収集し、公益社団法人山梨青年会議所を根底から支えるための基礎力を向上させていきます。そして公益社団法人日本青年会議所の推進する運動を山梨ブロック協議会とスムーズな連携を通し積極的に参加することにより、会員の意識を高めていきます。

## 【結びに】

私の恩師である白濱洋征先生は著書の中でこのように語っております。『幼児期の子ども達は皆人生の入り口に立ったばかりで、この世界を新鮮なもの、心動かされるものとして受け止めています。後を振り返ることを知らない子ども達は、全てを前向きに肯定的に捉えようとしています。彼らの好きな動物は、世界共通、ぞう、キリン、ライオンであり、好きな言葉は「またあした！」です。それは大きくなりたい、強くなりたい、という成長への願望であり、生への意思、未来への期待感がそう言わせているのです。』また、「教育とは生命の伝承であり、確かな未来を子ども達に手渡しするために、今一度、考えていこう」とも語っております。（『うれしい言葉は人を変える』より）

我々は、更に自身を高め成長させることで、より確かな未来を創造し、希望あふれる社会を子ども達へ渡していかなければなりません。私はこれまで、両親をはじめとする家族、恩師や友、青年会議所で出会ったすべての仲間、そしてこの地域に育てていただきました。その恩は、全ての人が未来に希望を持ち、地域社会との繋がりを大切に、思いやりを持って生きていける。そんな「明るい豊かな社会」を目指し、活動していくことで、お返ししていく所存です。

第42代公益社団法人山梨青年会議所理事長を務めることを大変光栄に思うと共に、強い責任を感じております。その誇りと責任を胸に、1年間邁進していくことをお誓い申し上げます。